

自治体DX推進における人材育成等について

1 内部人材の育成

(1) いたばしNo.1 実現プラン 2025 のDX 戦略ビジョン（以下、ビジョン）

「新しい技術や価値が暮らしを豊かにするまち」

ビジョンの実現に向けて常に変化する時代に合わせた人材育成を実施する。

(2) 令和4年度主な研修及び受講対象者

各職層や昇任時の研修でDX推進に資する内容を取り入れるとともに、業務改善ツールなどに関するスキルを習得する機会を設け、意識醸成やICTリテラシーの向上につなげる。

①管理職育成プログラム（講師：デロイトトーマツコンサルティング合同会社（以下、デロイト））	
目的	各課が主体的に考えDXを更に推進する体制を構築
内容	自治体におけるDXの必要性や管理職に求められる役割などを学ぶ
習得スキル	職員へのマネジメント、DX推進のポイント、区政とDXの将来ビジョンなど
主な対象者	管理職、IT推進課職員

②新任合同研修※ ③主任職・技能主任職昇任選考合格者研修※ ④係長職能力実証・技能長職選考合格者研修※ ⑤生産性向上研修 ⑥ビルド&スクラップ研修 ⑦選択制実務サポート研修※ ⑧クリティカルシンキング研修 ⑨説明力向上研修 ※各研修の中でDX推進にかかる講座を実施	
目的	DXを取り入れた区民サービスの向上
内容	固定観念から抜け出し、新たな発想で業務変革に取り組むためのスキルを学ぶ
習得スキル	業務変革、発想力、生産性の向上、クリティカルシンキング、ロジカルシンキングなど
主な対象者	昇任時などの各職層研修対象者

⑩EBPM勉強会（講師：デロイト）	
目的	証拠に基づく政策立案の知識などの習得により区DXを更に推進
内容	他自治体データ利活用事例や政策立案のためのデータ活用サイクルを学ぶ
習得スキル	EBPM知識、EBPM事例、業務変革 など
主な対象者	希望する職員、IT推進課職員

⑪業務改善ツールの庁内共有【動画研修】	
目的	業務改善ツールを多くの業務で活用することにより「業務効率化」を更に推進
内容	業務改善ツールの紹介と改善事例及び操作方法を動画で職員向けに発信する
習得スキル	DX好事例 など
改善ツール	RPA、会議録作成支援システム、GPSデータ分析ツール、LIVE配信機器 など
主な対象者	希望する職員、IT推進課職員

2 国・都による外部人材の活用及び連携状況

(1) 国による外部人材の活用：地域情報化アドバイザー派遣

実施内容：地域情報化アドバイザー派遣を国へ要請し、区職員向けにデータ利活用研修を実施した。

(2) 都との連携状況：ICTの導入に関する都・区市町村勉強会

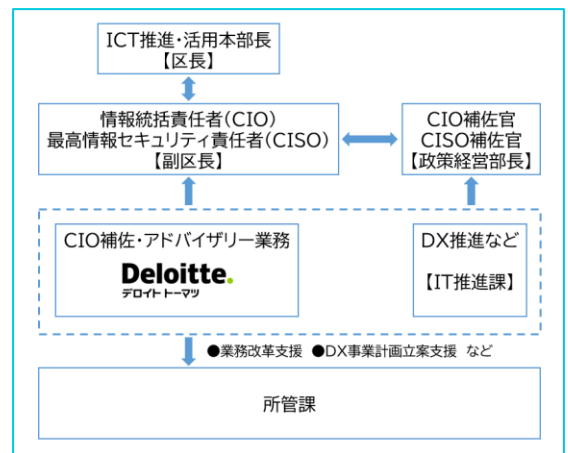
実施内容：市区町村におけるICT導入を円滑に進めていくため、都が主催した勉強会へ6回参加した。(業務プロセスの改革、費用対効果など)

3 外部人材の確保・活用 ～外部人材による客観的かつ専門的な助言と支援～

令和4年5月よりデロイトへCIO補佐及び情報システムアドバイザー業務の委託を開始している。

外部事業者への委託は、主に次の(1)～(6)の業務

- (1) システム導入・アセスメント支援
- (2) ICT活用検討支援 (3) 行政手続きオンライン化支援
- (4) 自治体情報システムの標準化・共通化支援
- (5) データ利活用支援 (6) DX人材育成支援



〔外部人材へ
求める役割〕

CIO補佐業務：ICT推進活用施策の検討過程における事業計画等の策定や方針決定にかかる支援及び助言を行う。

情報システムアドバイザー業務：各主管課のシステム導入やDX人材育成支援を行う。

4 令和5年度以降のDX人材育成について

DX戦略を着実に展開するため、区におけるDX人材の定義等を整理し、専門的知見に基づく支援も受けつつICTリテラシーの向上やDXへの意識醸成を今後も継続していく。